

令和3年度に実施した主な事業

オンライン申請導入事業 143万円

様々な生活様式に対応し、市民の皆さんの利便性向上と行政手続きの迅速化のため、オンライン申請システム(藤井寺市オンライン窓口)を導入しました。

子どもの医療費助成の拡大

2億217万円(うち拡大分2,961万円)

子育て世帯へのより一層の経済的な支援のため、子どもの医療費助成制度の助成対象年齢を入院・通院ともに「18歳到達年度末まで」に引き上げました。



アイセル シュラ ホール活用事業

405万円

アイセル シュラ ホールを古市古墳群周遊ルート上のシンボリックな拠点施設として位置づけ、観光の振興につながる新たな取り組みとして、重要文化財である水鳥形埴輪をモチーフにしたフォトスポットの設置を行いました。



市立道明寺東小学校及び市立第三中学校トイレ改修事業(Ⅱ期)

1億3,238万円

古くて使いにくかったトイレを洋式化しました。明るくきれいで、使いやすくなりました。

※令和2年度からの継続事業

新型コロナ対策の主な事業

消費喚起事業(買って応援ふじいでら事業) 1億6,322万円

コロナ禍で影響を受ける地域経済の活性化を図るため、市内の消費喚起を目的として実施しました。また、生活の支援として、高齢者や障がいのある方へ商品券を配布しました。

市立小中学校屋内運動場空調設置事業 6,663万円

三密を避け、体育館を利用して分割授業を行うため、必要となる空調を購入しました。

PCR検査センター設置事業

640万円

PCR検査の受検機会を確保することで感染拡大を防止し、市民が安全で安心して生活ができるよう、また、市内の事業者が経済活動を継続できるよう、「藤井寺市PCR検査センター」を開設しました。

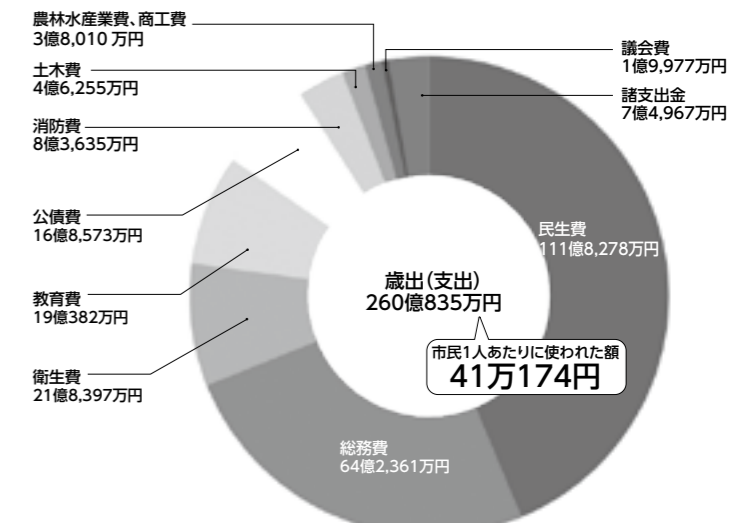
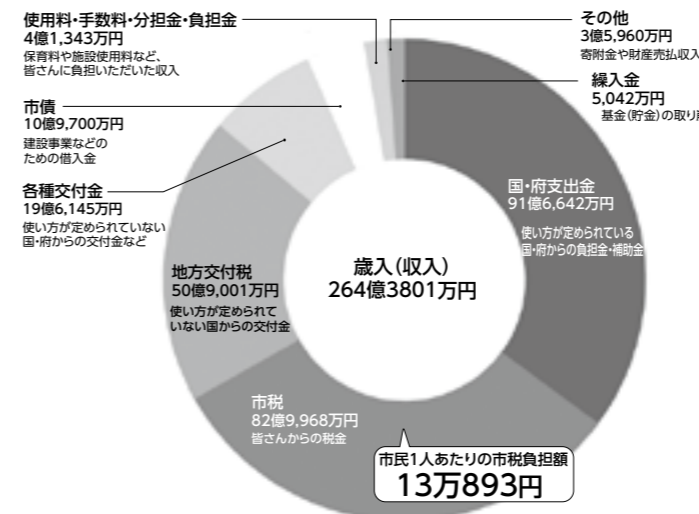
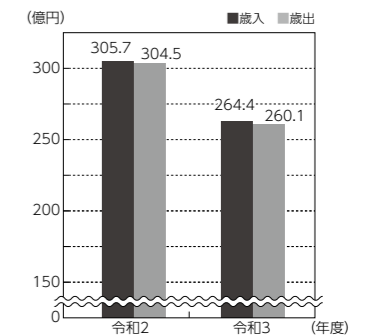
藤井寺市の財政のようす ~令和3年度決算の報告~

問合先 行財政管理課 財政担当(5階5番窓口) ☎939・1014

令和3年度一般会計決算は、令和2年度に引き続き財政調整基金(貯金)を取り崩すことなく、4億1,714万円の黒字となりました。令和2年度に実施した特別定額給付金事業分の減などにより歳入・歳出の決算額が大きく減少しました。

決算報告(一般会計)

| | 令和3年度決算額 | 令和2年度決算額 | 対前年度増減額 |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 歳入 | 264億3,801万円 | 305億6,616万円 | -41億2,815万円 |
| 歳出 | 260億835万円 | 304億4,667万円 | -44億3,832万円 |
| 形式収支 | 4億2,966万円 | 1億1,949万円 | 3億1,017万円 |
| 繰越財源 | 1,253万円 | 5,757万円 | -4,504万円 |
| 実質収支 | 4億1,714万円 | 6,192万円 | 3億5,522万円 |



- ・市税は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と比べ約2億8千万円減少しました。
- ・地方交付税は国税収入の補正などに伴う追加交付があったため、令和2年度と比べ約7億3千万円増加しました。
- ・地方特例交付金は新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が創設されたことにより、令和2年度と比べ約8千万円増加しました。

- ・普通建設事業など市単独経費となる事業では、抑制を図りつつ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限に活用し、コロナ対策事業を実施しました。
- ・子ども医療費助成の対象年齢の引き上げや、コロナ対策として実施した給付金事業などがあったことから、扶助費は令和2年度と比べ約14億8千万円増加しました。
- ・公債費は令和2年度と比べ約2億2千万円増加しました。

ふるさとまちづくり 応援寄附金

藤井寺市へたくさんご寄附をいただきありがとうございました。

令和2年度に寄せられた寄附金のうち4,737万円(6,373件)は、令和3年度に以下のとおり使わせていただきました。

| 令和2年度 寄附された方が寄附金の使い道を8つの事業から選択 | 使い道の内訳(令和3年度) |
|-------------------------------------|--|
| ①子育て支援又は教育の推進に関する事業 2,104件 1,578万円 | 保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校の備品・図書購入 1,398万円 母子保健推進事業 180万円 |
| ②福祉又は医療の充実に関する事業 543件 433万円 | ふれあい支援事業 433万円 |
| ③観光又は産業の振興に関する事業 227件 161万円 | シティプロモーション推進事業 161万円 |
| ④スポーツの振興又は青少年の健全育成に関する事業 107件 89万円 | 青少年育成推進事業 75万円 市民総合体育館管理事業 14万円 |
| ⑤歴史的又は文化的な遺産の保全に関する事業 280件 249万円 | 文化財用地管理事業 249万円 |
| ⑥都市基盤の充実又は安全なまちづくりに関する事業 124件 90万円 | 道路環境整備 90万円 |
| ⑦まちの魅力をPRする事業 66件 60万円 | ふるさとまちづくり応援寄附金事業 60万円 |
| ⑧①から⑦以外で、市長が必要と認める事業 2,922件 2,077万円 | 市内水路修繕 720万円 公共交通整備検討事業 418万円 市営火葬場管理事業 365万円 公園施設管理事業 261万円 アイセル シュラ ホール活用事業 200万円 図書館資料充実事業 110万円 男女共同参画社会推進事業 3万円 |

甦れ!「桜の木」復活プロジェクト(令和3年10月4日~12月31日) 139件 214万円

ガバメントクラウドファンディング(GCF)制度を利用して、桜の木をふれあい広場に植樹しました。



令和3年度決算について詳しくはこちら

財政状況

市債残高(借金) 187億3,555万円
市民1人あたり 29万5,476円

基金残高(貯金) 27億7,420万円
市民1人あたり 4万3,752円
(主な基金) 財政調整基金 15億4,495万円
減債基金 6億8,423万円

| 指標名/基準となる数値・説明 | 令和3年度 |
|----------------|-------|
| 実質赤字比率 | - |
| 連結実質赤字比率 | - |
| 実質公債費比率 | 1.9% |
| 将来負担比率 | 54.9% |
| 資金不足比率 | - |

※表・グラフ内の数字はそれぞれの項目で四捨五入しているため、集計が合わないところがあります。※市民1人あたりとは、令和4年3月31日現在の人口(63,408人)で割った金額です。※この決算は12月議会で認定を受けようとするものです。

令和3年度 特別会計決算

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 歳入－歳出 |
|---------|------------|------------|-----------|
| 国民健康保険 | 76億2,480万円 | 71億6,061万円 | 4億6,419万円 |
| 後期高齢者医療 | 11億271万円 | 10億6,512万円 | 3,759万円 |
| 駐車場 | 5,663万円 | 5,663万円 | 0円 |
| 介護保険 | 64億7,258万円 | 62億4,351万円 | 2億2,907万円 |

国民健康保険特別会計

国民健康保険料や大阪府からの交付金などを主な財源として、医療給付や保健事業などを行っています。

令和3年度末の被保険者数は13,376人で前年度と比較すると774人(5.5%)減少しました。一方、保険給付費は医療技術の高度化や高額薬剤等に加え、新型コロナウイルス感染症による受診控えの反動もあり、前年度から1億6,186万円増加しています。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、運営主体である大阪府後期高齢者医療広域連合と市で事務分担をしています。

市では後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源とし、各種申請や届出の受け付け、保険料の徴収などを行っています。

黒字収支となっていますが、これは令和4年度に広域連合へ納付する保険料などです。令和3年度末被保険者は9,531人で、前年度と比較すると2.0%増加しています。

駐車場特別会計

駐車場整備基金を繰入し、老朽化した機械式立体駐車施設の解体除却工事を行いました。

機械式立体駐車施設の解体除却が完了し、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がなくなったことから、令和3年度末をもって駐車場特別会計は廃止しました。

介護保険特別会計

介護保険制度は介護保険料や国・府からの交付金などを主な財源として、市が運営しています。市内の令和3年度末の65歳以上の高齢者は18,167人(人口比28.7%)で、前年度と比較して0.2ポイント上昇しました。市が支払った保険給付費の決算額は、56億3,018万円となりました(前年度より1億8,828万円増【3.5%増】)。高齢者の皆様一人ひとりが健康の保持増進に努めることで、給付費の増額を抑えられ、保険料の負担が減り、なによりも皆様がいつまでもいきいきと暮らせることにつながります。

令和3年度 企業会計決算

病院事業

令和3年度の入院患者は16,301人、1日当たり患者数は44.7人、病床利用率は45.6%でした。

また、外来患者数は43,419人で、1日当たり患者数は148.7人でした。

今年度は、企業債及び補助金を利用して、新型コロナウイルス感染症に対応するための医療機器の購入等を行い、充実を図りました。

| 収益的収支 ※1 | | 資本的収支 ※2 | |
|----------|------------|----------|-----------|
| 収入 | 23億 688万円 | 収入 | 7,472万円 |
| 支出 | 22億3,685万円 | 支出 | 1億3,411万円 |

(※1)収益的収支…通常の経営活動に伴う収支で、サービス提供に対する料金などの収入と、施設を維持管理する費用や人件費、借入金の支払利息などの支出
(※2)資本的収支…施設や設備の整備などに伴う収支で、国からの借入金や負担金などの収入と、工事費や機器などの購入費、借入金の元金償還金などの支出

公共下水道事業

令和3年度は令和2年度と比較して、下水道普及率は0.7%増加の83.5%、年間有収水量は33,732㎥減の4,843,032㎥でした。

建設改良事業では、下水道の新規整備や、下水道ストックマネジメント計画に基づく雨水ポンプ場の改築更新を行いました。

今後も引き続き未普及地域の解消と、雨水ポンプ場の改築更新に取り組んでいきます。

| 収益的収支 ※1 | | 資本的収支 ※2 | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 収入 | 20億 4,891万円 | 収入 | 17億 2,106万円 |
| 支出 | 19億 589万円 | 支出 | 23億 6,571万円 |